

提供先

大阪府政記者会
大阪市政記者クラブ
大阪経済記者クラブ

担 当	《※大阪文化祭 参加行事問合せ先》 財団法人大阪 21 世紀協会 水都・創造プロジェクト 石野 TEL 06-6942-2009
	大阪府 生活文化部 文化・スポーツ振興室 文化課 文化振興グループ 田中 TEL 06-6941-0351(内線 4826)
	大阪市 ゆとりとみどり振興局 文化部文化振興担当課長 伊東 TEL 06-6615-0680

平成 19 年度 大阪文化祭賞受賞者の決定について

大阪府、大阪市及び財団法人大阪 21 世紀協会では、芸術文化活動の奨励及び普及を図るなど、文化振興の機運を醸成することを目的とし、5 月、6 月の 2 ヶ月にわたり「大阪文化祭」を開催しました。

今年度の大阪文化祭参加公演 87 件について審査した結果、注目すべき成果をあげられた 5 件に対して、大阪文化祭賞 2 件、同奨励賞 3 件、うち、特に優れた 2 件に対し大阪文化祭賞グランプリを贈呈します。

記

1. 受賞者

- 大阪文化祭賞グランプリ とよたけさきたゆう 豊竹咲大夫の会
日本テレマン協会
- 大阪文化祭賞奨励賞 きくわかけいしゆう 菊若啓州 芸歴五十年記念演奏会
なんぶやすか 南部靖佳
につかひろみ 二塚裕美

2. 参加件数及び受賞件数

- 参加件数 87 件
- 受賞件数 5 件

3. 大阪文化祭賞受賞内容詳細 別紙のとおり

※写真がご入り用のときはご連絡ください

平成 19 年度 大阪文化祭賞 受賞者一覧

第 1 部門 (伝統芸能・邦舞・邦楽)

賞	受賞者氏名	贈呈理由
大阪文化祭賞 グランプリ	豊竹咲大夫 <small>とよたけさきたゆう かい</small> の会	豊竹咲大夫 <small>とよたけさきたゆう</small> の会における「日向嶋 <small>ひゅうがしま だん</small> の段」「憑り <small>よ</small> 来る <small>く</small> 魂 <small>たま</small> 」2 作品の成果
大阪文化祭賞 奨励賞	菊若啓州 <small>きくわかけいしゅう</small> 芸歴五十年 記念演奏会	菊若啓州 <small>きくわかけいしゅう</small> 芸歴五十年 記念演奏会における「哀歌 <small>あいか</small> 」の成果

第 2 部門 (現代演劇・大衆芸能)

該当者なし

第 3 部門 (洋舞・洋楽)

賞	受賞者氏名	贈呈理由
大阪文化祭賞 グランプリ	日本テレマン協会	日本テレマン協会 第 176 回定期演奏会の 成果
大阪文化祭賞 奨励賞	南部靖佳 <small>なんぶやすか</small>	演連コンサート OSAKA45 回 南部靖佳 フルートリサイタルの成果
大阪文化祭賞 奨励賞	二塚裕美 <small>につかひろみ</small>	二塚裕美ピアノリサイタルの成果

平成 19 年度 大阪文化祭賞 参加件数及び受賞件数

部門	参加件数	受賞件数	内訳		
			大阪文化祭賞 グランプリ	大阪文化祭賞	大阪文化祭賞 奨励賞
第 1 部門 (伝統芸能・邦舞・邦楽)	11	2	1	1	1
第 2 部門 (現代演劇・大衆芸能)	23	0	0	0	0
第 3 部門 (洋舞・洋楽)	52	3	1	1	2
第 4 部門 (美術・工芸・生活部門)	1	審査対象外			
計	87	5	2	2	3

※文化祭賞の中から文化祭賞グランプリを決定

大阪文化祭賞受賞内容の詳細

第1部門(伝統芸能・邦舞・邦楽)

賞	授賞者名(本名)	贈呈理由	参考事項	連絡先	公演会場	写真
	生年月日(年齢)			公演名・主催者	開催年月日	
大阪文化祭賞 グランプリ	とよたけきたゆう ○豊竹咲大夫の会	豊竹咲大夫の会における『日向嶋の段』『憑り来る魂』2作品の成果	昭和28年8月 豊竹山城少掾に入門 竹本綱子大夫と名乗る 昭和28年10月 四ツ橋文楽座初舞台 昭和41年9月 道頓堀朝日座に於いて豊竹咲大夫と改名 昭和44年5月 東京国立劇場に於いて、第一回「豊竹咲大夫の会」開催 以後、東京・大阪・京都にて「豊竹咲大夫の会」を主催 昭和59年 第一回咲くやこの花賞 平成11年 大阪文化祭賞 平成11・16・19年 国立劇場文楽賞文楽大賞 平成11年 芸術選奨文部大臣賞 平成16年 大阪舞台芸術賞 平成16年 紫綬褒章 平成19年 松尾芸能賞	06-6764-6737	国立文楽劇場	
	とよたけきたゆう 豊竹咲大夫 (生田陽三) 昭和19年5月10日 63歳	時代物の大曲「娘景清八嶋日記 日向嶋の段」と異色作の「憑り来る魂」は、まさに時機を得た演目と言える。真価が問われる難曲で、豊竹咲大夫がこれまで積み上げてきた芸の力を発揮し、凄みと迫力のある繰り上げられた義太夫を聴かせた。言葉の端々まで神経の行き届いた繊細かつ豪快な語りからは、ドラマや情感が生々しく伝わり、鶴澤燕三も表現力を増した確かな三味線。素浄瑠璃の醍醐味が味わえた成果が高い評価を集めた。	「豊竹咲大夫の会」 豊竹咲大夫	6月27日(水)13:00		
大阪文化祭賞 奨励賞	きくわかけいしゅう ○菊若啓州 芸歴五十年 記念演奏会	菊若啓州 芸歴五十年 記念演奏会における『哀歌』の成果	1957年 菊井松音師に入門 1971年 大阪音楽大学管絃科卒 1972年 菊井箏楽社大師範取得 1983年 NHK邦楽オーディション合格 1985年 後援会により”地唄会”を毎年開催(95年迄10回) 1988年 菊井松音師より”継山流箏曲伝授巻”を取得 1994年 第一回”地唄の世界”を開催(以後2年に1度の開催で継続中) 2007年 芸歴五十年記念演奏会を開催 (他にレコード収録、ラジオ放送出演、公演等)	0798-71-4333	国立文楽劇場・小ホール	
	きくわかけいしゅう 菊若啓州 (原啓二郎) 昭和24年8月2日 57歳	透徹した深みをたたえた十七弦の旋律、しみじみと響く尺八の音色。吉崎克彦作曲「哀歌」の演奏は、その鮮烈な瑞々しさで「芸歴五十年記念」という表題への予想を小気味良く裏切り、衝撃的だった。陶酔に誘う切ない調べに、青い月が輝くイスラムの砂漠が浮かび、音楽や楽器のジャンルを超えた新たな音楽の可能性すら思わせる。もう五十年、まだ五十年。挑戦心を失わぬ清新なる芸の心に、さらなる結実への期待を込めて奨励賞を贈る。	「菊若啓州芸歴五十年 記念演奏会」 菊若啓州	6月17日(日)13:00		

第3部門(洋舞・洋楽)

賞	授賞者名(本名)	贈呈理由	参考事項	連絡先	公演会場	写真
	生年月日(年齢)			公演名・主催者	開催年月日	
大阪文化祭賞 グランプリ	○日本テレマン協会	日本テレマン協会 第176回定期演奏会の成果	1963年 主宰者・延原武春により創設され、関西を拠点に特にバロック音楽の普及・啓蒙を柱として活動 2002年 テレマン作品集のCDが発売され、以降のシリーズ化も決定 2003年 ドイツの「バツハフェスティバルライブツィヒ2003」に日本から唯一招聘を受け、アイゼナハ、マグデブルク等5都市で8公演を行う 2006年 国内初のクラシック楽器による「第九」を演奏 現在、「定期演奏会(177回)」「マンスリーコンサート(392回)」「教会音楽シリーズ(153回)」など年間20数回の自主公演を開催し、来年には創立45周年を迎える	06-6345-1046	いづみホール	
	日本テレマン協会 昭和38年4月1日設立	ハイドン時代のクラシック楽器(a=430)を使用しての、わが国初のオラトリオ「四季」の演奏。約3時間にも及ぶ長丁場ながら、テレマン室内管弦楽団は、延原武春の躍動感あふれる指揮のもと、終始緊張を途切れさせること無く、クラシック楽器の特性も十分に生かしながら内的充実感に満ちたメリハリ豊かな演奏を展開。中村朋子、畑儀文らのソリストたちや合唱団も伸び伸びとした歌唱を展開し、この作品の喜び感を見事に引き出した。	「日本テレマン協会 第176回定期演奏会」 日本テレマン協会	6月22日(金)19:30		
奨励賞	なんぶやすか ○南部靖佳	演連コンサートOSAKA45回 南部靖佳フルートリサイタルの成果	東京に生まれ9歳の時に渡米。ジュリアード・ブレ・カレッジを経てシンシナチ音楽大学をわずか2年で首席で卒業。同大学院で指揮法を学び、修士号を取得。その後、ハノーバー芸術大学にてエドムーテ・ベア女史に師事。 今春3月には大阪フィルハーモニー交響楽団と共演(日本演奏連盟主催)。短期オーケストラの首席奏者としてアメリカ・ドイツの主要コンサートホールで演奏。また、ソロ・室内楽奏者として国内外で活躍。クラシックを中心に幅広いジャンルを演奏する。 神戸港就航の豪華客船コンチェルトのフルーティスト。ドルチェ・ミュージック・アカデミー講師。神戸音楽家協会、神戸クラシック協会各会員。	(株)神戸クルーザー 078-360-5601	いづみホール	
	(南部靖佳) 昭和54年6月3日 28歳	公演は、バロックから現代まで幅広い時代の、また多様な文化圏の作品に挑む意欲的な内容だった。南部は、速度感があって、なお膨らみ豊かな音色と揺るぎないテクニックを持っている。知的な解釈により、各作品の妙を描き出した。ベーム《グランド・ポロネーズ》でみせた煌びやかで軽やかに伸張するレガート。貴志康一作品に込めた、たゆたうような情緒。何れも忘れ難い。リーパーマン《ソナタ》では、ピアノのハーバラーの好サポートも得、躍動する清新な音楽性を感じさせた。表現の深化に向けた営みに、強く期待する。	「演連コンサートOSAKA45 南部靖佳フルートリサイタル」 (社)日本演奏連盟	5月25日(金)19:00		
大阪文化祭賞 奨励賞	につかひろみ ○二塚裕美	二塚裕美ピアノリサイタルの成果	・大阪芸術大学演奏学科卒業と同時に、大阪芸術大学学長賞を受賞 ・大阪芸術大学卒業演奏会、読売新人演奏会、関西新人演奏会、奈良県新人演奏会等の演奏会に出演 ・その後、大阪芸術大学大学院を首席で修了し、更に大学院研究員として研鑽を重ねる ・04年ザ・フェニックスホールにてデビューリサイタル開催 ・05年大阪芸術大学管弦楽団とメンデルスゾーン作曲「ピアノ協奏曲第1番」を協演 ・06年「浜松カワイ電洋コンサートシリーズ」に招かれリサイタル開催 ・ピアノを長岡秀美、荒憲一の両氏に師事 ・現在、奈良県立高円高等学校音楽科非常勤講師 奈良県音楽芸術協会、大和郡山市音楽芸術協会各会員 大阪芸術大学学長賞	大阪アーティスト協会 06-6135-0503	ザ・フェニックスホール	
	(二塚裕美) 昭和53年9月16日 28歳	二塚裕美リサイタルは、ベートーヴェンとショパンを二つの柱として構成された。ベートーヴェン「ピアノ・ソナタ第8番『悲愴』」では、運命に立ち向かう雄々しい意志がスケールの大きい演奏により表現されていた。ショパン「スケルツォ全4曲」では、各曲を綿密に弾き分け、曲に内在する細やかな情感を立ち上がらせていた。技術は明晰で堅実。新進ピアニストの楽しみな未来を予感させるものであった。	「二塚裕美ピアノリサイタル」 大阪アーティスト協会	6月10日(日)14:00		